

令和7年度 鳥取県トップアスリート登録者名簿

区分	氏名	競技	主な経歴
A	県内在住	オオベ ユミ 大部 由美	サッカー ・元サッカー女子日本代表主将 ・FIFA女子世界選手権第1回、第2回、第4回の3度出場 ・アトランタ、アテネオリンピック出場
		オハラ タクミ 小原 工	トライアスロン ・シドニーオリンピックトライアスロン日本代表 ・スポーツ観光マイスター ・JTUハイパフォーマンスチーム中四国リージョンリーダー
		モチダ ヨウタロウ 百千田 幸太郎	水泳(飛込) ・アジア大会(ドーハ)出場 ・2006 日本選手権水泳競技大会 高飛込優勝
		フジイ リョウタ 藤井 亮汰	陸上競技(ハードル) ・2023 全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 第2位 ・2024 日本陸上競技選手権大会 第7位 ・2024 佐賀国民スポーツ大会 第3位
		アベ ユキヒサ 阿部 幸久	セーリング ・H17 全日本学生ヨット選手権大会 準優勝 ・第66回山口国体(山口県代表) 準優勝 ・2022年全日本セーリングスピリッツ級選手権大会 優勝
		ヤマナカ アユリ 山中 歩里	ダンス・新体操 ・2002～2004 インターハイ・国体出場 ・2003中国大会個人優勝 ・スポーツリズムトレーニングディフューザー
	県外在住	ムラ タカシ 無良 隆志	スケート ・1978 世界ジュニア選手権2位 ・1983 冬季ユニバーシアード優勝 ・1983 プラハ国際大会優勝
サトウ マサコ 佐藤 雅子		ホッケー ・2009 第5回チャンピオンズチャレンジ I 第3位 ・2009 東アジア大会 第3位 ・2012 ロンドンオリンピック 出場	
B	オカモト ナオキ 岡本 直己	陸上競技(長距離) ・2009 世界クロスカントリー 日本代表 ・2009 都道府県対抗男子駅伝 7区 区間賞 ・2010 全日本実業団駅伝 5区 区間賞 ・2012 世界ハーフマラソン 日本代表 ・2018 北海道マラソン 優勝	
	ウサミ リカ 宇佐美 里香	空手道(形) ・第21回世界空手道選手権大会優勝 ・国体4連覇、全日本空手道選手権大会5回優勝 ・県スポーツアドバイザー ・東京2020KARATE アンバサダー ・全日本空手道連盟強化委員長 ・全日本空手道連盟理事	
	サイゴウ トモヒロ 西郷 智博	相撲 ・2013 全日本学生相撲選手権大会 第5位 ・2016 国体成年男子 個人優勝 ・2017 国体成年男子 個人3位 ・2017 全日本選手権 優勝 ・2018 相撲アジア選手権 無差別級優勝 ・2018 世界相撲選手権大会 無差別級個人3位 団体優勝 ・2019 世界相撲選手権大会 団体準優勝	
	コイズミ イブキ 小泉 維吹	セーリング ・東京オリンピック 49er級 11位	
	ミヤザキ アサヒ 宮崎 朝光	セーリング ・2023 第88回全日本ヨット学生選手権大会 8位	
	タイラ ミカ 平 美香	アーチェリー ・全日本室内ターゲットアーチェリー選手権大会 優勝 ・全日本ターゲットアーチェリー選手権大会 準優勝 ・国民体育大会 団体優勝2回、個人優勝1回(愛知県代表) ・世界学生アーチェリー選手権大会 個人5位、団体4位	
	ナマキ モエカ 生木 萌果	バドミントン ・2019 第74回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体成年女子京都府代表 第5位 ・2019 全日本学生バドミントン選手権大会 女子複 第5位 ・2021 全日本学生バドミントン選手権大会 団体戦 第2位、混合複 第3位 ・2021 全日本総合バドミントン選手権大会 混合複 第9位 ・2023 全日本実業団バドミントン選手権大会 チアフル鳥取 第9位 ・2023 バドミントンSJリーグⅡ チアフル鳥取 第3位 ・2024 バドミントンSJリーグⅡ チアフル鳥取 優勝	
ハヤシタニ マサキ 林谷 理貴	バドミントン ・バドミントントップリーグ 9年間在籍(三菱自動車京都) ・日本ランキング ミックスダブルス 最高8位 ・全日本総合選手権大会 ミックスダブルス 第5位		

※区分について

A	B区分以外のアスリート(県が謝金、派遣先が旅費を負担)
B	スポーツ課、スポーツ協会のスポーツ指導員及び岡本直己氏(謝金・旅費は原則不要)※土日、祝日はこの限りではない